

鹿児島  
路傍300種図鑑

県本土編



鹿児島県立博物館



表紙解説

ハクサンボク	ツマグロヒヨウモン (♀)
ヤツシロガイ	日南層群 (佐多町)

# 発刊にあたって

鹿児島県立博物館館長

福田 晴 夫

県立博物館が、教育普及活動の中核として進めている「路傍300種に親む運動」は、昭和59年から始まって7年が経過した。現在は、さらに一歩踏み込んだ「調べよう鹿児島島の自然」に包含され、ユニークな事業として好評裏に展開されている。

その推進力となっているのが「路傍300種解説集」で、これは手書きの親しみ易さもあって、すでに2万冊以上がいろいろな場で活用されている。しかし、カラー化への要求も強く、私たちもそれを望んでいたのがあったが、今回ようやくその一部が実現できた。この新版が、カラープレートを加え、手書き文字の大部分を活字にし、内容を若干なおして、誌名も改めて世に出ることになったのである。

今や人と自然との関わり方が問いなおされ、自然に親しむ方法も人さまざまに多様化しつつあるが、その中で、本誌に盛り込まれた、身近な自然“普通種の世界”への誘いは、多くの場でいろいろな活動の底辺を支える力となるであろう。また、そうなることを心から願う。

---

## 目 次

路傍300種に親しむ運動 .....	1
さあ、次の順序で始めてみましょう .....	2
路傍300種の目録と登載頁 .....	3
鹿児島県の市町村 .....	7
植 物 .....	8
昆 虫 .....	58
貝 .....	94
岩 石 .....	116

THE UNIVERSITY OF CHICAGO

PHYSICS DEPARTMENT

PHYSICS 435

LECTURE 1

1.1

1.2

1.3

1.4

1.5

1.6

1.7

# 路傍300種に親しむ運動

昨今、自然をめぐる論議はにぎやかですが、そこには「自然とは何か」という問いかけがしばしば欠落しており、自然認識のしかたに甘さがあるように思われます。

私たちを育んでくれた郷土の自然、今後も共存をはかり、生活のよりどころにしようとしている自然とは何でしょうか。その素顔を知ることなしには、郷土愛も、人や自然を大切にする心も生まれません。

「路傍300種に親しむ運動」は、「豊かな自然の中で郷土の教育をすすめよう」とか「科学に親しむ風土づくり」という県政の力点に相呼応して生まれたもので、身近な生物や岩石の名前を知ることにより、目的を達成しようとするものです。

かつては、草・虫・貝をそれぞれ300種ず

つ知っておれば、博物の教師がつとまるといわれ、「路傍三百種」という言葉が生まれました。一方、人々は身近な生き物に名前をつけて、豊富な方言で自然との対話を続けてきました。

もちろん、自然認識のしかたは多様です。現在はあえて種名までつきつめることを避け、生態的な集団としての理解をねらうことが多いようです。それもまたひとつの優れた方法といえましょう。

それに引きかえ、種名を調べ、名前を覚えながら自然のしくみに迫る道は、一見古くさくて最も困難なものであることを私たちは承知しております。それでも、あえてこの道を選びました。この運動は私たちの願いを込めた、新しい運動です。

## この運動の特色

### — あなたは自然の名探偵 —

自然は多彩です。目にふれるものを手あたりしだいに採集して、名前を調べようとしてもうまくいきません。近年、多くの図鑑やガイドブックが出版されていますが、それでもこれは大変困難な作業です。

それなら、逆に、まず名前を知り、その特徴を調べあげてから、自然の中へそれを探しに出たらどうでしょう。あなたは自然界の名探偵というわけです。

これは、身近な自然の中に、300人の友だちを探し求める運動です。

対象を草木・虫・貝・岩石に限ったのは、身近にあり、手にとってじっくり見ることができるものから始めようということです。野鳥もトカゲも、カエルも魚も大切な友だちですが、これらは将来の楽しみに残しておきましょう。



### 自然保護憲章

自然をとうとび、自然を愛し、自然に親しもう。

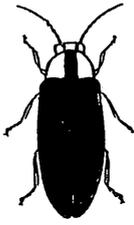
自然に学び、自然の調和をそこなわないようにしよう。

美しい自然、大切な自然を永く子孫に伝えよう。

## こんな300種を選んでみました



植物140種



昆虫90種



貝50種



岩石20種

1. 身近に普通に見かける種類で、名前をよく知っているもの。オオバコ、タマムシ、アサリ、シラスなど。
2. よく見かけるのに、名前を知らないようなもの。ハチジョウカグマ、ウスバキトンボ、ミクリガイ、安山岩など。
3. 名前は知っており、身近に多いにもかかわらず実物を意外に知らないもの。ゼンマイ、ハハコグサ、キリギリス、バカガイなど。
4. ありふれているのに、見過ごしがちなもの。キューリグサ、ヤマトシジミ、ヨメガカサガイなど。
5. 名前が少し変わっていて、ちょっと探してみようかという気になるもの。ゲジゲジシダ、マイマイカブリ、クチベニガイ、ホルンフェルスなど。
6. 方言は知れわたっているのに、正式な名前まで知ってほしいもの。カカランハ、油虫、べ、ミカゲ石など

## さあ、次の順序で 始めてみましょう。

1. 300種の目録を見て、すでに知っているものに○印をつけます。
2. 探してみようと思う種類をきめます。  
シダ類とか、セミ類とか、小さな特定グループから始めるとよいです。
3. 「路傍300種解説集」  
や図鑑で下調べをします。  
いつ、どこで、どんなふう探すか、形、色、大きさは？
4. メモ帳とポリ袋を手に、ぶらりと野外へ出かけましょう。  
何となく眺めていた自然から、見つめる自然へ、さらに探索する自然へ。頭のチャンネルを切りかえましょう。
5. 少し持ち帰って、図鑑や博物館の標本などで確認します。  
調べた材料は捨てないで、栽培・飼育したり、標本にして長くつき合おうと、さらに深い勉強ができます。
6. 300種から少しずつ輪を広げましょう。  
何でも手びろくもよいですが、せまく深く、小グループを追求することをすすめます。

### 気をつけましょう

- むやみに採集することはひかえましょう。
- 危険なことはやめましょう。
- 他人に迷惑をかけないようにしましょう。

## 路傍300種の目録 (鹿児島県本土編)

植 物		頁 図版		頁 図版			
シダ類				39	イタドリ	22	5
1	イノモトソウ	10	1	40	イヌガラシ	23	5
2	ウラジロ	11	1	41	イヌタデ	23	6
3	オニヤブソテツ	13	2	42	イヌビユ	24	
4	コシダ	11	1	43	イノコズチ	25	6
5	ゲジゲジシダ	12	2	44	ウマノアシガタ	26	6
6	スギナ	12	2	45	エノキグサ	27	7
7	ゼンマイ	11	1	46	オオアレチノギク	37	10
8	タマシダ	13	2	47	オオイヌノフグリ	26	6
9	ノキシノブ	10	1	48	オオバコ	27	7
10	ハチジョウカグマ	12	2	49	オナモミ	25	
11	ホシダ	10	1	50	オニタビラコ	26	6
12	ホラシノブ	13	2	51	オニヤブマオ	28	7
13	マメヅタ	10	1	52	オランダミミナグサ	29	7
14	ワラビ	11	1	53	カラムシ	28	7
単子葉類				54	カタバミ	30	8
15	イタチガヤ	14	2	55	キュウリグサ	29	
16	エノコログサ	15		56	キツネノボタン	26	6
17	オヒシバ	16	3	57	キランソウ	31	8
18	ケカモノハシ	14	2	58	ゲンノショウコ	32	8
19	コウボウムギ	14		59	ゴアカツ	28	7
20	コオニユリ	19	4	60	コニシキソウ	33	9
21	シナダレスズメガヤ	17	3	61	コミカンソウ	33	9
22	ススキ	17		62	コバノタツナミ	29	7
23	スズメノカタビラ	18	4	63	シロツメクサ	30	8
24	スズメノテッポウ	18	4	64	スイバ	31	8
25	スズメノヤリ	18	4	65	スベリヒユ	27	7
26	チカラシバ	15	3	66	スマレ	31	8
27	チガヤ	17	3	67	セイタカアワダチソウ	34	9
28	ツユクサ	19	4	68	セイヨウタンポポ	21	5
29	ネジバナ	24	6	69	タカサブロウ	24	6
30	ネズミノオ	15	3	70	タチツボスミレ	31	8
31	ハマスゲ	16	3	71	タネツケバナ	40	11
32	ヒメヒオウギズイセン	19	4	72	チチコグサ	35	9
33	ヒメコバシソウ	18	4	73	チチコグサモドキ	35	9
34	メヒシバ	16	3	74	チドメグサ	36	10
双子葉類(草)				75	ツメクサ	36	
35	アキノノゲシ	20	4	76	ツルソバ	22	5
36	アキノタムラソウ	20	5	77	ツボクサ	36	10
37	アキノキリンソウ	20	5	78	トウバナ	35	10
38	アレチマツヨイグサ	21	5	79	ドクダミ	40	12

頁 図版				頁 図版			
80	ナズナ	40	11	111	ナワシログミ	42	12
81	ナンバンギセル	17	3	112	ネズミモチ	45	13
82	ヌスビトハギ	53	16	113	ハクサンボク	46	14
83	ネコノシタ	39	11	114	ハマゴウ	39	11
84	ノアザミ	35	10	115	ハマヒサカキ	48	14
85	ハコベ	40		116	ヒサカキ	48	15
86	ハハコグサ	35	10	117	ヌルデ	41	12
87	ハルノノゲシ	38	11	118	マサキ	46	14
88	ヒメジョオン	38	11	119	マルバウツギ	46	14
89	ヒメムカシヨモギ	37	10	120	マルバハギ	43	12
90	フキ	38	11	121	ヤブツバキ	47	
91	ミゾソバ	22	5	122	ヤマヤナギ	47	14
92	ヤクシソウ	34	9	<b>つる植物</b>			
93	ヤハズソウ	33		123	アケビ	49	15
94	ヨメナ	34	9	124	エビズル	50	15
95	ヨモギ	37	10	125	オオイタビ	51	15
96	レンゲソウ	18		126	カナムグラ	52	16
<b>双子葉類(木)</b>				127	カラスウリ	50	15
97	アオモジ	54	16	128	クズ	53	16
98	アカメガシワ	41	12	129	サルトリイバラ	49	15
99	アキグミ	42	12	130	スイカズラ	54	16
100	イヌザンショウ	47	14	131	センニンソウ	32	8
101	イヌビワ	41	12	132	テリハノイバラ	48	14
102	オオムラサキシキブ	43	12	133	ナワシロイチゴ	44	13
103	キブシ	44	13	134	ノブドウ	50	15
104	アマクサギ	42		135	ハマヒルガオ	39	11
105	クサイチゴ	44	13	136	ヘクソカズラ	52	16
106	クスノキ	44	13	137	ヤエムグラ	52	16
107	コガクウツギ	46	14	138	ヤハズエンドウ	54	16
108	シャリンバイ	45	13	139	ヤブガラシ	32	9
109	トベラ	45	13	140	ヤマノイモ	51	15
110	ナガバノモミジイチゴ	44	13				

昆虫				頁 図版			
<b>トンボ類</b>				149	ハラビロトンボ	62	18
141	ハグロトンボ	60	17	150	シオカラトンボ	63	18
142	ニシカワトンボ	60	17	151	オオシオカラトンボ	63	18
143	キイトトンボ	60	17	152	マユタテアカネ	64	18
144	クロイトトンボ	61	17	153	ウスバキトンボ	63	18
145	タイワンウチワヤンマ	61	17	154	チョウトンボ	64	18
146	ヤマサナエ	61	17	155	ハッチョウトンボ	64	18
147	ギンヤンマ	62	17	<b>網翅類(もうしるい)</b>			
148	オニヤンマ	62	17	156	カマキリ	65	18

頁 図版			頁 図版				
157	サツマゴキブリ	66	19	193	アカタテハ	78	23
<b>ナナフシ類</b>				194	イシガケチョウ	78	22
158	エダナナフシ	65	18	195	コムスジ	79	23
<b>直翅類(ちよくしるい)</b>				196	ヒメウラナミジャノメ	79	24
159	クツワムシ	66	20	197	クロヒカゲ	79	24
160	エンマコオロギ	66	19	198	クロコノマチョウ	80	24
161	ショウリョウバッタ	67	19	199	エビガラスズメ	80	24
162	オンブバッタ	67	19	200	オオスカシバ	80	24
163	トノサマバッタ	67	19	201	シンジュサン	81	24
164	ツチイナゴ	68	19	202	オオトモエ	81	24
165	ハネナガイナゴ	68	19	203	トンボエダシャク	81	24
166	キリギリス	68	19	204	サツマニシキ	82	25
<b>半翅類(はんしるい)</b>				<b>甲虫類</b>			
167	アオクサカメムシ	69	19	205	ハンミョウ	82	25
168	ホソヘリカメムシ	69	19	206	マイマイカブリ	82	25
169	アメンボ	69	19	207	オオミズスマシ	84	26
170	アブラゼミ	70	20	208	ノコギリクワガタ	83	25
171	クマゼミ	70	20	209	コクワガタ	83	25
172	ニイニイゼミ	70	20	210	カブトムシ	85	25
173	ハルゼミ	71	20	211	サツマコフキコガネ	84	25
174	ツクツクボウシ	71	20	212	マメコガネ	84	26
175	アオバハゴロモ	72	20	213	カナブン	85	26
176	シロオビアワフキ	72	20	214	シロテンハナムグリ	85	26
177	タイコウチ	72	20	215	アオドウガネ	86	26
<b>長翅類(ちょうしるい)</b>				216	タマムシ	86	25
178	ヤマトシリアゲ	73	20	217	ウバタマムシ	86	25
<b>脈翅類(みゃくしるい)</b>				218	テントウムシ	87	
179	ツノトンボ	73	21	219	ゴマダラカミキリ	87	25
180	ホシウスバカゲロウ	73	21	220	クロウリハムシ	87	26
<b>鱗翅類(りんしるい)(チョウ・ガ類)</b>				221	オオゾウムシ	88	26
181	イチモンジセセリ	74	21	222	ヘイケボタル	88	26
182	アオスジアゲハ	74	22	<b>膜翅類(まくしるい)</b>			
183	アゲハチョウ	75	21	223	クロオオアリ	88	26
184	キアゲハ	75	21	224	コガタスズメバチ	89	26
185	ナガサキアゲハ	75	22	225	フタモンアシナガバチ	89	26
186	モンキアゲハ	75	22	226	クマバチ	89	26
187	モンシロチョウ	76	23	227	ミツバチ	90	26
188	キチョウ	76	23	<b>双翅類(そうしるい)</b>			
189	ムラサキシジミ	77	21	228	ハナアブ	90	26
190	ヤマトシジミ	77	23	229	ウシアブ	90	26
191	アサギマダラ	77	22	230	シオヤムシヒキ	91	26
192	ツマグロヒョウモン	78	23				

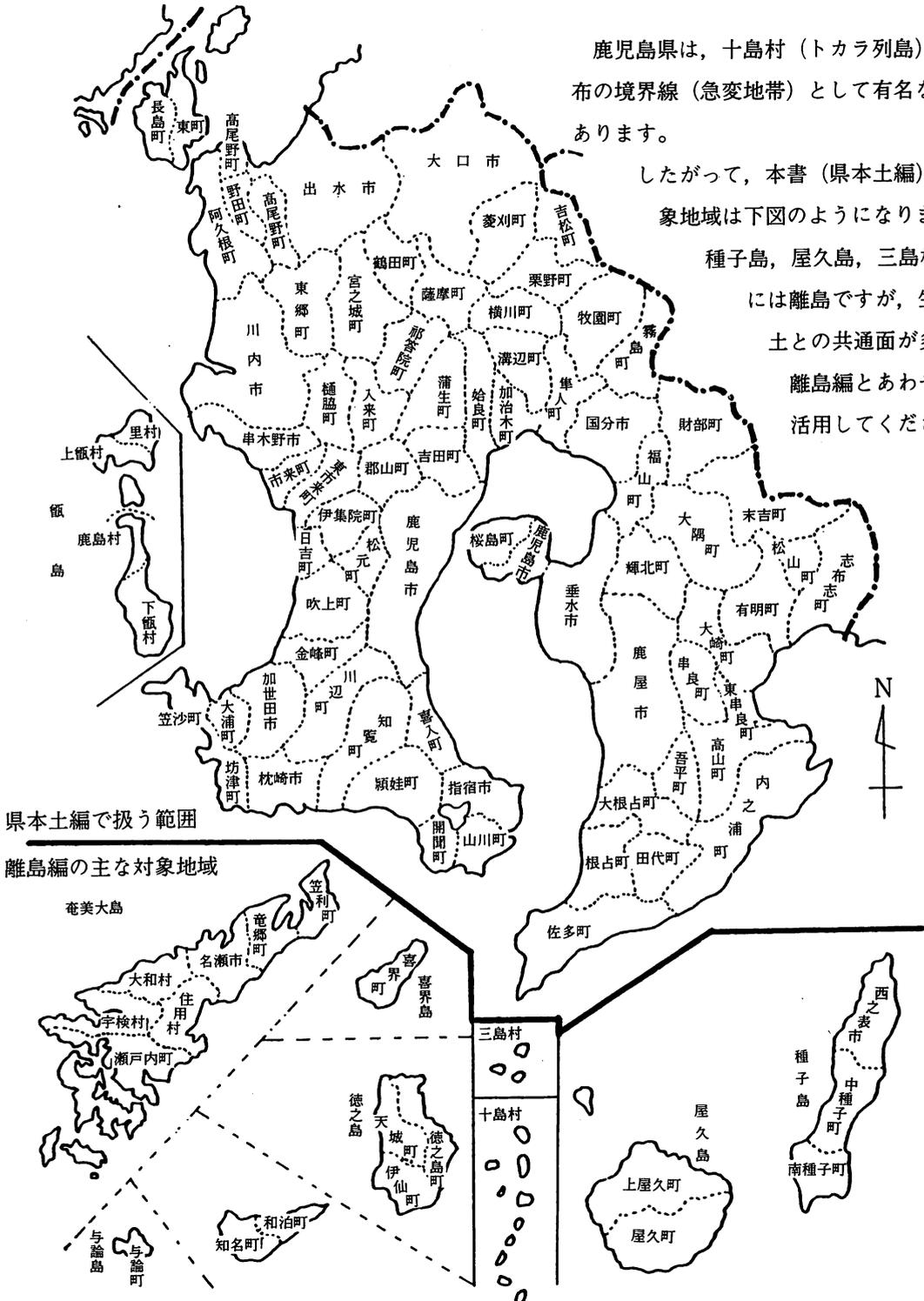
貝	頁 図版		頁 図版			
<b>海産巻貝類</b>			257	クジャクガイ	99	29
231 クロアワビ	100	27	258	ツキヒガイ	103	29
232 トコブシ	100	27	259	イタヤガイ	102	29
233 ヨメガカサガイ	97	27	260	ヒオウギガイ	102	29
234 ギンタカハマガイ	101	27	261	ケガキ	99	29
235 イシダタミガイ	97	27	262	モクハチアオイガイ	109	29
236 キサゴ	105	27	263	ハマグリ	104	29
237 ウズイチモンジガイ	97	27	264	オキアサリ	104	29
238 サザエ	101	27	265	アサリ	105	29
239 ウラウズガイ	97	27	266	バカガイ	109	29
240 マガキガイ	105	27	267	ナミノコガイ	109	29
241 ツメタガイ	106	27	268	カバザクラガイ	110	29
242 メダカラガイ	98	27	269	クチベニガイ	110	30
243 ハツユキダカラガイ	106	27	270	マテガイ	110	30
244 ヤツシロガイ	106	28		<b>ツノ貝類(海産)</b>		
245 ビワガイ	107	28	271	ヒメナガツノガイ	111	30
246 オニサザエ	101	28		<b>ヒザラ貝類(海産)</b>		
247 イボニシ	98	28	272	ヒザラガイ	96	30
248 バイ	107	28		<b>淡水産貝類</b>		
249 ミクリガイ	107	28	273	マルタニシ	112	30
250 ヒメイトマキボラ	102	28	274	カワニナ	112	30
251 マクラガイ	108	28	275	マシジミ	112	30
252 ハルシャガイ	108	28		<b>陸産貝類</b>		
253 クロスジグルマガイ	108	28	276	ヤマタニシ	114	30
<b>海産二枚貝類</b>			277	アズキガイ	114	30
254 エガイ	98	28	278	キセルガイ	114	30
255 サルボウガイ	103	28	279	ウスカワマイマイ	113	30
256 タマキガイ	104	28	280	ツクシマイマイ	113	30

岩石	頁 図版		頁 図版			
<b>火成岩類</b>			291	ネンバン岩(粘板岩)	123	34
281 ゲンブ岩(玄武岩)	120	31	292	カザンバイ(火山灰)(ローム)	124	32
282 カクセンセキアンザン岩 (角閃石安山岩)	120	31	293	カルイシ(軽石)	124	33
			294	ギョウカイ岩(凝灰岩)	125	
283 キセキアンザン岩(輝石安山岩)	120	31	295	シラス(火砕流非溶結部)	125	33
284 リュウモン岩(流紋岩)	120	31	296	ヨウケツギョウカイ岩 (溶結凝灰岩)	125	33
285 コクヨウセキ(黒曜石)	121	32	297	チャート	126	34
286 カコウ岩(花崗岩)	121	32	298	セツカイ岩(石灰岩)	126	34
<b>たい積岩類</b>			299	ケイソウド(珪藻土)	127	34
287 レキ岩(礫岩)	122	32		<b>変成岩類</b>		
288 サ 岩(砂岩)	123	33	300	ホルンフェルス	127	
289 デイ岩(泥岩)	123					
290 ケツ岩(頁岩)	123					

# 鹿児島県の市町村

鹿児島県は、十島村（トカラ列島）に生物分布の境界線（急変地帯）として有名な渡瀬線があります。

したがって、本書（県本土編）の主な対象地域は下図のようになります。ただ、種子島、屋久島、三島村は地理的には離島ですが、生物相は本土との共通面が多いので、離島編とあわせて本書を活用してください。





鹿児島之路傍300種図鑑(県本土編)

発行年月日：平成3年(1991年)3月31日

編集・発行：鹿児島県立博物館

〒892 鹿児島市城山町1-1 TEL 0992-23-6050

FAX 0992-23-6080

印刷所：日進印刷株式会社